

笑顔とチャレンジがあふれるまち ならは

広報

ならは

2025 OCT. 第669号

10

特集

避難指示解除10年記念式典

●表紙PHOTO:避難指示解除10年記念式典キャンドルナイト



ダイスケワナゴーさん



竹原ピストルさん



CANDLE JUNEさん

避難指示解除 10年 記念式典

令和7年9月5日
みんなの交流館 ならはCANvas

ともに歩んだ10年 これから紡ぐ未来

避難指示解除10年に寄せて ～それぞれの思い～



青木ひろみさん

ボランティア団体「なにかし隊」の活動で、一人暮らしの高齢者の方を元気づけようと広報無線を使ってメッセージとラジオ体操の配信を始めました。その時は、今日にまで10年以上続くものになるとは思いませんでした。

「榎葉藍染め会」や「榎葉わらじ組」の活動も、若い人たちに引き継がれながら継続してほしいと思っています。様々な活動を縁の下で支えています。

プロフィール▼震災後はボランティアをメインに活動し、「なにかし隊」立ち上げメンバーの一人でもあります。仕事で上京した際に合気道の楽しさに触れ、避難指示解除後は合気道教室の復活にも携わり、武道館で合気道の指導・練習に励んでいます。



田中 創さん

10年前と比べて、活気のある町になったと思います。

今は大学で、放射線技師の勉強をしています。将来は榎葉町に戻って、資格を活かして、町に貢献したいと思っています。

プロフィール▼田中創さんは、立花さんと同じく避難指示解除後、すぐに帰町し、榎葉からいわきの仮設小学校に通いました。沢山の町内イベント等にも参加し、町の復興の歩みと共に逞しく成長しています。



立花 克磨さん

町に子供たちが増えて、賑やかになっているのを見ると、復興が進んでいると感じます。

自分は榎葉町でもとてもよい教育(学びや体験)を受けてきたと感じているので、これからの子どもたちもよい教育を受けてほしいと思います。

プロフィール▼10年前の9月5日、避難指示解除式典で、当時、小学4年生だった立花克磨さんは、「ならは町に帰ってきてよかった」と題して作文を披露してくれました。彼も今年で20歳となります。

令和7年9月5日、みんなの交流館ならはCANvasで「榎葉町避難指示解除10年記念式典」が行われました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災及び原子力災害に伴い全町避難となり、4年半後の平成27年9月5日に避難指示が解除されてから10年の節目となったこの日、町民のみなさんの思いや未来への希望と意志を記したキャンドルと、榎葉町を象徴するゆずと鮭をかたどったメッセージが会場を飾りました。

キャンドルで照らされた幻想的なステージは、町民にもおなじみのFMいわきパーソナリティのベティさんが進行。町長からは、「暗闇に光を灯す帰還の道を選んだ。榎葉町に関わる多くの、人の力で、今は沢山の子供たちが町中を走り回り、田んぼが色づき、家々のともしが戻ってきた。選択に間違いはなかったと確信している。皆に感謝し、共にこれから10年を築き上げていく。」と避難指示解除10年にあたってのメッセージがありました。

10年前と同じように会場をキャンドルで装飾してくれたNARAHANAアンバサダーのCANDLE JUNEさんからの、「東日本大震災を経験した榎葉町の人々が、その教訓や支援のバトンを能登半島など次の被災地へ繋いでいってほしい。」というメッセージに続き、ダイスケワナゴーさん、竹原ピストルさんの歌とトークによる榎葉町への熱い「声援」が来場者を魅了し、キャンドルに灯されたあかりと共に町の未来と町民の心を照らし、元気づけていただきました。

また、8月22日から9月19日まで開催されていた特別展示「避難指示解除10年の歩み」には、帰町した方々の気持ちや榎葉町を応援していたにいてる方々の強い思いが、パネルの展示、インタビューを交えた動画、実際に放送されたラジオ番組の音声アーカイブなどで公開され、参加した人たちはこの10年間の出来事や、一人ひとりの思い出を振り返り、様々な思いがあふれる会場となりました。

福島復興サイクルシリーズ ツール・ド・ふくしま2025 サイクリングターミナルに全国のサイクリストが集結！



9月6日、「福島復興サイクルシリーズ ツール・ド・ふくしま2025」が開幕し、主に榎葉町サイクリングターミナルを発着点として、多くのサイクリストが浜通り地域を駆け巡りました。ツール・ド・ふくしま2025は、復興が進む福島の今を国内外に発信し、サイクルスポーツを通じた広域的な交流人口拡大と振興を目的に、福島民報社、一般社団法人みんぼうスポーツ・文化コミッションが主催となり開催されました。



写真提供：福島民報社

タイムを競わないサイクリングでは、町内を巡る「ならはホープライド40」が開催され、地元グルメ満載のエイドステーションとともに町内の復興の様子を肌で感じていただきました。



写真提供：福島民報社



写真提供：福島民報社

来年6月13日・14日には、グランフォンド世界選手権のアジア予選として「ツール・ド・ふくしま2026」が開催予定であり、同様のコースを多くの選手が駆け抜けます。さらに、世界選手権本戦の会場は北海道ニセコとなるなど、来年は国内全体でも自転車ロードレースが注目されます。



Tour de Fukushima 2025 Hashiken

JFAアカデミー福島 女子チームが、 日本クラブユース 女子サッカー大会（U-18）優勝

7月28日～8月1日の日程で開催された「第7回 日本クラブユース女子サッカー大会（U-18）」で、Jヴィレッジを拠点に活動するJFAアカデミー福島女子チームが見事に優勝。8月28日に来庁し、町長に優勝報告を行いました。

JFAアカデミー福島は、この後、12月21日に、埼玉スタジアム2002（埼玉県）で開催される「JFA U-18女子サッカーファイナルズ」で、今年の全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会を制した大商学園高等学校（大阪府）と対戦し、18歳以下の女子チーム日本一に挑戦します。



保護司 更生保護シンポジウム開催

8月30日、ならはCANVASで「社会を明るくする運動」×国際更生保護ボランティアの日記念企画、「街・夢・みらいまなび」つくる更生保護シンポジウムが開催されました。

シンポジウムでは、福島大学の藤室玲治特任准教授による「支援のためのコミュニケーション」と題した基調講演や、榎葉町の保護司でもある橋本盛一さん（前双葉地区保護司会会長）から双葉郡保護司会の活動報告が行われました。

保護司は犯罪や非行を防止するとともに、立ち直りを支える地域の力として活動しています。皆さんも何ができるか一緒に考え、できることから始めてみませんか。



「大学芋プロジェクト」 さつまいも試し掘り会

8月18日、「榎葉町×マルトさつまいもプロジェクト」の連携事業「大学芋プロジェクト」の一環として、東京大学のサークル「東大IMOPROJECT」の学生等が参加し、榎葉町でさつまいも試し掘り会を行いました。

試し掘りの後の商品開発セッションでは、若い世代の視点や製造側の意見が交わされ、商品化への道筋がさらに具体的にになりました。いよいよ本格格的な収穫シーズンを向かえ、今年の味と新たなアイデアが実を結び日が楽しみです。



岩沢サーフィンゲームス2025

8月24日、岩沢海水浴場で、サーフィン大会「岩沢サーフィンゲームス2025」が開催されました。

岩沢海水浴場は湾が入り組み絶好の波が立つことから、震災以前から多くのサーファーが集う聖地としても有名です。この大会は震災以前に25年間行っていた「榎葉町長杯」を受け継ぐ大会として令和5年から開催され、今年で3回目となります。

当日は7才～70才までの236名が参加し、榎葉の波に乗り、素晴らしい技を披露していました。



福島大学との連携による檜葉方言調査

8月8日、檜葉方言調査が檜葉町コミュニティセンターで行われました。福島大学と檜葉町との連携協定により、今年で10年目を迎えます。「方言は宝言」とも言われ、方言は地域の生きた文化財です。東北地方では、東日本大震災後のコミュニティ崩壊に伴う方言消失へ危機感、文化財保護の観点からも、記録、保存が重要視されています。言葉の継続的な調査により、その分布、さらに、地域間交流の解明も期待されます。調査には同大学生約10名も参加し、坂本和也檜葉町歴史資料館館長の案内で館内を見学し、地域の自然、歴史、文化等も学びました。

ナイトミュージアムデー

8月18日、夜7時から、檜葉町コミュニティセンターで「ナイトミュージアムデー」が開催され、児童と保護者、大学生など約35名が参加しました。星座早見盤づくりや、懐中電灯に照らし出される化石や昆虫標本など夜の博物館探検を楽しみ、ミステリアスな世界に子供たちは目を輝かせていました。



スポーツ。まなびの広場



第10回東大教室@檜葉

8月24日、檜葉町コミュニティセンターで、第10回東大教室@檜葉「昆虫の教室」が開催されました。東京大学総合研究博物館の矢後勝也先生を講師に、絶滅が危惧される小笠原・対馬のチョウを例に、減少の原因や保護活動について解説いただきました。特に、地域住民との連携による保全活動と観光事業の結びつきについて、受講者から「浜通りの復興への大きなヒントになる」との声があがりました。次回の東大教室@檜葉「アマゾンの教室」は10月26日(日)を予定しています。



第1回檜葉町原子力施設監視委員会

8月26日、檜葉町原子力施設監視委員会を開催しました。会議では、福島第一及び福島第二原子力発電所の廃炉工程における施設の状況や、燃料デブリの取り出し、汚染水対策について議論しました。今後も、委員会では原子力発電所の状況について、住民の皆様により詳しく情報発信してまいります。また、会議に先立ち、松本哲男委員の後任として青木洋氏(前檜葉町教育長)を委員に委嘱しました。



青木 洋 委員

スイーツ甲子園 ふくしまチャレンジカップ

8月24日、Jヴィレッジでスイーツ甲子園ふくしまチャレンジカップが開催されました。本大会は、高校生による檜葉町・広野町・富岡町・大熊町の特産品の部門ごとにスイーツ作りを競うもので、檜葉町のさつまいも部門では180件の応募がありました。最優秀賞には和歌山県南部高等学校 脇田葵さん・木田美々花さんチームが選ばれました。今後は大会審査員パティシエの森大祐さんと共にさつまいものスイーツ開発を行い、来年2月に東京・代々木公園にて開催されるイベントで販売をする予定です。



檜葉町監査委員に 草野朋典さんを選任

檜葉町監査委員(議員選出)の任期が令和7年8月31日付けで満了となることに伴い、令和7年9月檜葉町議会臨時会において同意を得て、草野朋典氏(下井出)が9月1日付けで選任されました。

今後は、民間企業での豊富な経験を生かして、町の財政運営が適正に行われているか監査していただくこととなります。



第72回 福島県消防協会 双葉支部幹部大会

9月7日、町コミュニティセンターを会場に、双葉郡内の消防団幹部が一堂に会し、「第72回福島県消防協会双葉支部幹部大会」が開催されました。式典では、長年にわたる消防活動へのご尽力を称えるものとして、檜葉町消防団より14名の団員が表彰対象となり、代表の3名が壇上にて賞状を授与されました。また、式典中における楽曲の演奏を檜葉町消防団吹奏隊が担当し、一体感と迫力ある吹奏で式典を盛り上げ、ご来場いただいた皆様より高い評価をいただきました。



おすすめ図書

(一般図書)

『作家とおやつ』

平凡社編集部／編(平凡社)

老舗名店の逸品に手間ひまをかけたこだわりのおやつ、職場のおやつコーナー、幼いころ食べたおやつの懐かしい記憶など……名だたる文豪や現代の人気作家、漫画家、料理研究家といった著名人たちの、「おやつ」にまつわるエッセイや詩、写真資料など59篇をまとめた作品です。甘くてちょっぴり切ないノスタルジーあふれる一冊。



『作家とおやつ』 平凡社編集部／編(平凡社)

児童

- 『はじめてでもかんたん!小学生のヘアアレンジ』 永松香織／監修(成美堂出版)
- 『モンスター・ホテルでおばけやしき』 柏葉幸子／作(小峰書店)
- 『おっかけにんじゃ』 大串ゆうじ／作・絵(PHP研究所)

◎10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)は、第79回読書週間です◎

今年の標語は、「こころとあたまの、深呼吸。」です。今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなることを願っています。

[お問い合わせ先] 檜葉町図書室(檜葉町コミュニティセンター3階) ☎0240-25-4730

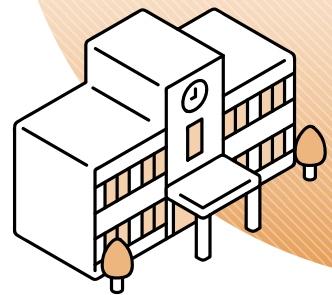
開室時間 9時～17時 休室日 10月6日(月)、13日(月・祝)、20日(月)、27日(月)、11月3日(月・祝)



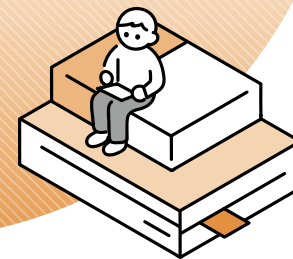
新着図書

一般

- 『磐城平藩』 夏井芳徳／著(現代書館)
- 『水族館飼育員のただならぬ裏側案内』 なんかの菌／著(集英社インターナショナル)
- 『こうぶくろう』 葉丸岳／著(小学館)

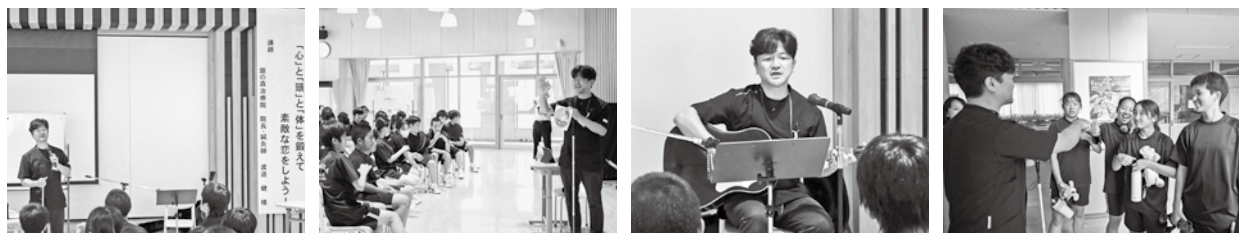


学び 育ち 羽ばたく ならはスクールレポート



榎葉中学校

いろんな大人の生き方から学ぶ「職業人講話」



榎葉中学校では、キャリア教育の一環として「職業人講話」を実施しています。この講話は、様々な職業に就いている方を講師としてお招きし、仕事内容ややりがい、仕事を通して得た経験、働くことの意義などについてお話いただくものです。

今回は、二本松市で鍼灸師として活躍されている渡邊健さんを講師にお招きしました。中学校の理科教員として社会人生活を始めた渡邊さんは、目の難病で全盲となりましたが、その後鍼灸師として新たな道を歩んでこられました。

ご自身の経験から、「知っているつもりにならないこと」「ゆっくりでもいいから、前へ進むこと」「できないことではなく、できることに目を向けること」など、人生を豊かに生きるための大切な教訓を、温かい言葉で生徒たちに伝えてくださいました。

講演の途中には風船の実験やギターの弾き語りも披露してくださり、あっという間の2時間でした。生徒たちは終始真剣な表情で話に耳を傾け、講演後には直接お礼を伝える生徒が出るほど、心に響く貴重な時間となりました。



ホームページ

あおぞらこども園

幼小連携事業で小学生と交流

よろしくおねがいします♪



カードめくり競争!!



大根抜き!



犬走り!



榎葉小学校4年のお兄さんお姉さんと一緒に、ならはスカイアリーナで交流をしました。小学生との交流はたくさんの刺激があつていいですね。

楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。



Instagram

ふたば支援学校

第10回双葉郡中高生交流会 FUTABA 1DAY SUMMER SCHOOL

全体写真



ダンスの様子



自由に絵を描く様子



8月1日、ふたば未来学園中学校・高等学校を会場に「第10回双葉郡中高生交流会 FUTABA 1DAY SUMMER SCHOOL」が開催され、本校から中学部2名、高等部10名の計12名が参加しました。午前中は双葉生徒会連合の皆さんの企画を、各中学校・高等学校の友達と一緒に楽しみ、有意義な時間を過ごしました。

開会式では、全体プロデュースの秋元康さんが6つのワークショップの講師を紹介した後、双葉郡の中高生総勢300名以上の参加者による記念撮影が行われました。

ワークショップでは、本校はダンス部門とアート部門に参加しました。それぞれ講師の先生をしっかり見ながらステップを踏んだり、想像力を働かせながら自由な配置で絵を描いたり、夏休みの楽しい思い出になりました。



ホームページ

榎葉小学校

小学生の元気な学びの姿 — 修学旅行・宿泊活動・見学学習 —

修学旅行(6年生)



宿泊活動(5年生)



見学学習(中学年)



見学学習(低学年)



榎葉小学校では、この秋に学年ごとに特色ある体験学習を行いました。

6年生は修学旅行で東京方面を訪れ、午前中は国会議事堂を見学し、実際の議場を目にすることで、社会科で学んできた「国の政治のしくみ」をより身近に感じることができました。午後は浅草寺に向かい、雷門や仲見世通りを散策し、歴史ある建物や多くの参拝客の姿にふれ、日本の伝統文化や観光地の魅力を肌で感じることができました。仲間と一緒に土産を選ぶ姿もあり、笑顔あふれるひとときとなりました。

5年生はいわき海浜自然の家での宿泊活動に挑戦!! 野外炊事やキャンプファイヤーを通して、仲間と力を合わせる大切さを実感し、笑顔いっぱいの時間を過ごしました。

また、低・中学年では、町内外への見学学習を行い、アクアマリンふくしまや図書館などを訪れ、日ごろの授業で学んだことを深めることができました。

子どもたちは、これらの活動を通してたくさんの学びと出会いを経験し、ひと回り成長した姿になりました。



ホームページ

おうちで **ならいざっふ**

お薬の相談、誰にしていますか？～かかりつけ薬剤師のすゝめ～

10月17日は、「薬祖新祭(やくそしんさい)の日」です。薬の恵みに感謝し、人々の健康を願う日とされています。薬の神様に祈りを捧げるこの行事は、薬が私たちの命と暮らしを支えてきたことを思い起こさせてくれます。

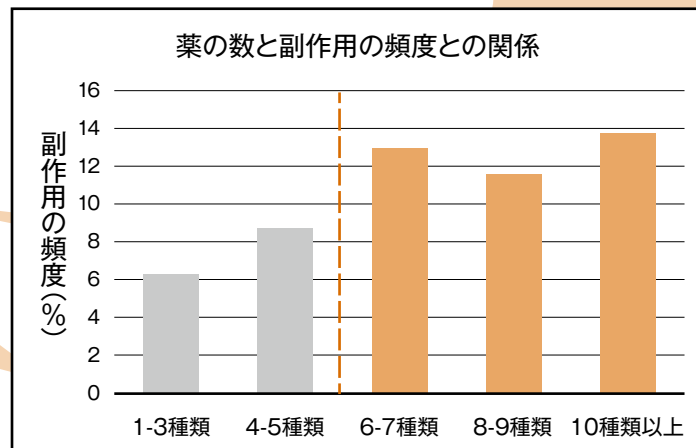


薬の恵みと「飲み過ぎ」の課題

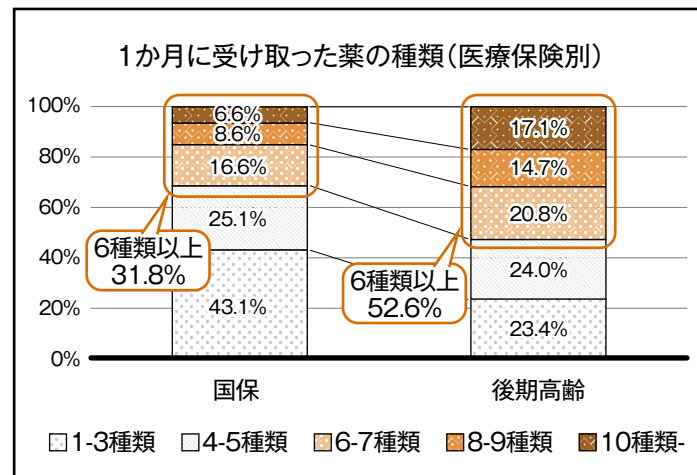
薬は長い歴史の中で、私たちの暮らしを守り続けてきた大切な存在です。

一方で、現代社会では、薬の飲み過ぎ(ポリファーマシー)が問題となっています。複数の病気で多くの薬を飲むと、副作用が出たり、薬どうしの相性で体調を崩すことがあります。

一般的に、6種類以上のお薬をもらっている高齢者では、副作用を起こす人が増えることがわかっています。



皆さんは何種類のお薬を飲んでいますか



皆さんが何種類くらいのお薬を飲んでいるのか、可能な限り最新のデータをお伝えします。

令和7年5月の1か月間に受け取った薬の種類を、保険証の種類ごとでグラフにまとめました(KDBシステムより抽出)。

副作用を起こしやすくなると言われている6種類以上のお薬を貰っている方は、国保で3割、後期高齢で5割以上に達することが判りました。

もちろん、治療の必要から、何種類ものお薬を飲んでいる方もいますが、もしかしたら必要以上にお薬を貰っている方が含まれているかもしれません。

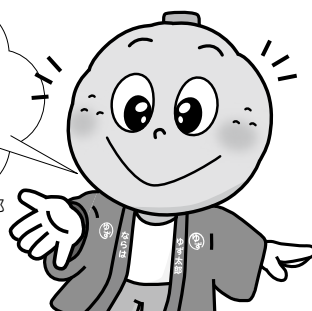
あなたの「かかりつけ薬剤師」は誰ですか？

薬は多ければよいというものではなく、身体に合った適切な量を正しく使うことが大切です。

そこで頼りになるのが「かかりつけ薬剤師」です。かかりつけ薬剤師は、薬の専門家として日頃から患者さん一人ひとりの薬を把握し、重複や飲み合わせのチェックをしてくれます。飲みにくい薬や市販薬・サプリメントのことも気軽に相談でき、安心して治療を続けるための心強い味方です。

本来は病気を治すためのお薬ですが、相性の良くないお薬を飲み合わせてしまったばかりに、かえって体調を崩してしまう場合もあります。市販薬や健康食品の中にも、飲む際には注意が必要なものもあります。お薬のことで気になることがあれば、薬剤師さんに尋ねてみましょう。

ゆず太郎



馬路村視察研修会開催！ ～檜葉町ゆず生産振興組合～

9月8～9日、檜葉町ゆず生産振興組合は、有機ゆずの先進地である高知県馬路村において視察研修を行いました。当日はJA馬路村代表理事専務(木下彰二様)から馬路村の歴史や商品開発に関する説明を受け、活発な意見交換が行われました。

松本広行組合長は「地域の資源を最大限に生かした馬路村の取組みを参考に、檜葉町ゆず生産振興組合が中心となりゆずの町として産地化を図るとともに、檜葉町特産品開発センターとの連携を深めながら特産品開発と生産拡大、担い手育成に取り組みたい!」と話されていました。



ゆず生産者募集 ～令和7年度ゆず生産振興事業～

今年もゆずの生産振興拡大のため、ゆず苗木の配付を行います。配付条件をご確認の上、令和7年10月末日まで農林水産課にご連絡をお願いします。

配付条件

- ①檜葉町ゆず生産振興組合に加入すること
- ②ゆずを町特産品開発センターに出荷すること
- ③剪定や肥培管理等を定期的実施すること

●農林水産課 ☎0240-23-6104

ならは農福フェス2025開催！

ならは農福フェスは、農業の祭典「ならSUNフェス」と福祉の祭典「ならはコミュニティコレクション」がタッグを組み、農業と福祉への理解を深めるきっかけを目的としたイベントです。令和7年11月15日(土)9:00から、みんなの交流館ならはCANvasでお待ちしています！



熱中症予防

知識を身につけて 予防に努めましょう

熱中症により脳がダメージを受けると、めまいのような軽い後遺症だけではなく、日常生活に大きく影響するような重い後遺症が残ることもあるそうです。

軽い後遺症は回復するまで数週間から半年、場合によっては数年続くことも。重い後遺症は脳機能障害や嚥下障害、失語症等10年以上にわたる長期的な治療が必要なケースもあるそうです。

熱中症の知識を身につけ日頃から予防することを心がけましょう！



連絡先
☎0240-23-6104

楡葉町スポーツ協会からの お知らせ

バスに乗ってふくしま駅伝
楡葉町チームを応援に行こう！

- 開催日／11月16日(日)
- 集合・出発／楡葉町総合グラウンド
4:50集合 5:00出発
- 参加費／無料
- 応援ルート／白河市総合運動公園～福島県庁

※事前予約が必要です。
楡葉町スポーツ協会まで
お申し込みください。



軽登山・ウォーキング教室

- 開催日／11月29日(土)
 - 行先／男体山 茨城県大子町
 - 参加費／5,000円
 - 申込期間／10月14日(火)～
10月31日(金)
- ◎お問い合わせ・お申し込み先
一般社団法人楡葉町スポーツ協会
☎0240-26-0076 FAX0240-23-6047



第4回 福島・ならはの 暮らしとクラフトマルシェ

ご好評につき、クラフトマルシェを今年も開催します。
「Creema(クリーマ)」に登録しているクリエイターの方々のこだわりが詰まった手作りの逸品が勢ぞろい！さらに今年は、店舗数を増やし約40店舗出展！お気に入りの一点物が見つかるかも。クリエイターさんたちのこだわりトークも聞けますので、ぜひお越しください。

※Creemaとは、全国28万人の作家・デザイナーが出店する、日本最大のハンドメイドマーケットプレイスを運営。
※詳細は、同封の「第4回福島ならはの暮らしとクラフトマルシェ」をご確認ください。

- 日時／11月2日(日) 10:00～15:00
- 場所／みんなの交流館 ならはCANvas
- HP／



◎Creemaの逸品プレゼント(小学生以下のお子様限定)
※100個程度ご用意していますが、なくなり次第終了。

◎お問い合わせ先
(一社)ならはみらい 移住促進係 ☎0240-23-6271

5分でできる！ 家族の命を守る新習慣

アプリで作ろう！「マイ避難」キャンペーン開催中！ 9月1日～11月30日

福島県防災アプリでマイ避難シートを作成して素敵なプレゼントをGETしよう！

豪華賞品が
200名様に
当たる！

- 特賞 福島宿泊券3万円 5名様
- 1等 福島牛サーロインステーキ 10名様
- 2等 ふくしまグルメセット 85名様
- 3等 オリジナル防災備蓄ボトル6点セット 100名様

主催 福島県危機管理部危機管理課

◎お問い合わせ先／アプリで作ろう「マイ避難」キャンペーン事務局(株式会社ル・プロジェ内)
☎024-932-2232(平日9:00～17:00)

※マイ避難シートとは、いざという時に速やかに避難するために、日ごろから作成しておく自分に合った避難計画のこと



天神岬アウトドアフェスティバル2025開催

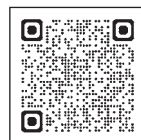
昨年に引き続き、天神岬スポーツ公園の抜群のロケーションを活かしたアウトドアイベント「天神岬アウトドアフェスティバル」を開催いたします。

- 日時／10月25日(土) 10:00～17:00
- 場所／楡葉町天神岬スポーツ公園
- 主な催し

- アクティビティ サップ&カヤック体験(定員あり／事前申込)、電動キックボード、スラックライン他
 - マーケット キャンプギア販売・展示、サバイバルプレスレット制作(定員あり／当日受付)他
- 詳細は、同封の「天神岬アウトドアフェスティバル」チラシをご覧ください。

※本イベントは、「令和7年度福島県地域創生総合支援事業」を活用しています。

◎お問い合わせ先／政策企画課 ☎0240-23-6103



公式HP

～日本一きれいな町に～秋のクリーンアップ作戦

町の環境美化を目的に「秋のクリーンアップ作戦」を実施します。皆様のご協力をお願いします。

- 日時：10月19日(日) 8:00から1時間程度
- 集合場所：お近くの各行政区集会所など

行政区	集合場所	行政区	集合場所
上井出	上井出集会所・萩平集会所・井出川橋(北側)・鐘突堂集会所・ふたばの里前	波 倉	波倉集会所
下井出	下井出集会所・大楽院	営 団	浄光西集会所
北 田 中満住宅 寺脇住宅	北田集会所 中満南集会所 寺脇公営墓地北側	乙次郎	乙次郎集会所
大 谷	大谷集会所	上小埜	上小埜集会所・寺後地内花壇・上小埜消防屯所・中川原ポンプ場(南側)・女平集会所
松 館	松館集会所	下小埜	下小埜集会所・佐野集会所
上繁岡	上繁岡集会所	山田岡	山田岡集会所・名古屋集会所
繁 岡	繁岡集会所	前 原	前原集会所
下繁岡	下繁岡集会所	山田浜	山田浜集会所
		大 坂	大坂集会所

※雨天等による中止の場合は当日6:00に判断します。

◎お問い合わせ先／くらし安全対策課 環境係 ☎0240-23-6109

新しい町防災倉庫見学会の参加者を募集します

「北防災倉庫」及び「南防災倉庫」が完成し、災害時に必要な防災資機材を集中管理できるようになりました。

町の防災体制を住民の皆様にご覧いただくため、次のとおり見学会を実施します。くらし安全対策課までお申し込みください。

皆様のご参加、お待ちしております！

- 日時／10月26日(日) 10:00～11:30
- 定員／30名
- 参加料／無料
- 集合／楡葉町役場正面駐車場(10:00) ※集合地からはバスで移動します。

◎お申し込み・お問い合わせ先／くらし安全対策課 防災交通係 ☎0240-23-6109



楡葉町農業委員の候補者募集(追加募集)について

楡葉町農業委員会では、任期中の委員に欠員が生じたため、下記のとおり委員を募集します。

「農地等の利用の最適化(担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)の推進」を中心に、農地法に基づく農地の売買・賃借の許可、農地転用案件への意見具申など、農地に関する事務を執行する行政委員会として、市町村に設置する組織。

募集概要	
任 期	委嘱日～令和9年7月7日(前任者の任期を引き継ぐ)
募 集 人 数	1名
報 酬	年額213,000円 ※活動実績等により、能率給を加算
主 な 業 務	毎月の委員会総会での農地の権利移動の許可等に係る審議・決定等 農地利用最適化推進委員との連携による農地パトロール等
募 集 期 間	令和7年10月3日(金)から令和7年10月31日(金)まで
応募方法等	●個人による推薦、団体・法人による推薦、自ら応募の3種類 ●推薦・応募様式に所定の事項を記入の上、郵送か持参してください ※窓口受付時間：平日8:30～17:15 ●応募要領・応募様式は楡葉町農業委員会事務局(農林水産課内)窓口または、町ホームページからダウンロードしてください。

◎お問い合わせ・提出先／楡葉町農業委員会事務局(農林水産課内) ☎0240-23-6104



令和7年度町政懇談会の開催

町政懇談会は町民の皆様のご意見を町政に反映させていく大切な話し合いの場です。皆様のご参加をお待ちしています。

- 日時／11月8日(土)13:30から
- 会場／檜葉町コミュニティセンター 大会議室
- ※資料は役場の窓口や町ホームページに事前公開します。
- ※参加申し込みは不要です。
- どなたでもご自由に参加できます。
- ◎お問い合わせ先
DX推進室 ☎0240-23-6103



第2回座談会『原子力、いろはの「い」から。』について

- 今年も檜葉町原子力施設監視委員会による座談会を開催します!福島第一原発のデブリ取り出しや処理水の海洋放出、第二原発の廃炉措置、放射線の影響など、様々な原子力に関する疑問について、委員の皆さんに尋ねてみませんか?どなたでもお気軽にご参加ください。
- 日時／10月26日(日)13:30～15:00
 - 場所／みんなの交流館 ならはCANvas
 - ◎お問い合わせ先
くらし安全対策課 ☎0240-23-6109

お買い物バスを
利用してみませんか?

- 毎週木曜日は北地区、毎週金曜日は南地区をお買い物バスが運行しています。お買い物バスは、各地区からここなら笑店街までを結ぶルートで、運行路線上であればどこでも乗車可能です。ぜひ、ご利用ください。
- ◎お問い合わせ先
政策企画課 ☎0240-23-6103



福島県立ふたば支援学校
令和7年度「あけび祭」

- 日時／10月25日(土)9:30～11:45
 - 場所／福島県立ふたば支援学校
 - 内容／●小学部ステージ発表
●中学部・高等部による生徒作品の販売会
●高等部による製作体験コーナー
●児童生徒作品展示
- ※10/25(土)～10/31(金)は「学校へ行こう週間」を実施しています。ぜひお越しください。
- ◎お問い合わせ先
ふたば支援学校 教頭 ☎0240-23-3971



2050年のゼロカーボンを目指して

8月28日、町のゼロカーボン・パートナーである事業所・団体が一堂に会し、パートナー会議を開催しました。グループワークでは各パートナーの取組みと進捗の確認を行い、活発な意見が交わされました。先進的な取組みから、誰もが実践できる身近な取組みまで、ゼロカーボンに向けた意気込みが感じられました。檜葉町ではゼロカーボンの実現に向け、一緒に取組んでくださる事業所や団体を随時募集しています。



ゼロカーボン・パートナー 一覧

- 住鉱エナジーマテリアル株式会社
- 一般財団法人檜葉町振興公社
- 檜葉町民生児童委員協議会
- 株式会社東コンサルタント
- 一般社団法人ならはみらい
- 株式会社東邦銀行 檜葉支店
- 檜葉町商工会
- 檜葉町食生活改善推進員会
- 檜葉町女性の会
- 株式会社Jヴィレッジ
- 前田建設工業株式会社 東北支店
- 東京電力ホールディングス株式会社 福島第二原子力発電所
- 恵和工業株式会社
- 豊通リチウム株式会社
- 株式会社福島しろはとファーム
- 株式会社ネモト
- 三浦電気工業株式会社 相双南営業所
- 有限会社ウインズトラベル
- 加藤建設株式会社

◎お問い合わせ先／くらし安全対策課 ☎0240-23-6109

令和6年度決算 財政公表の概要

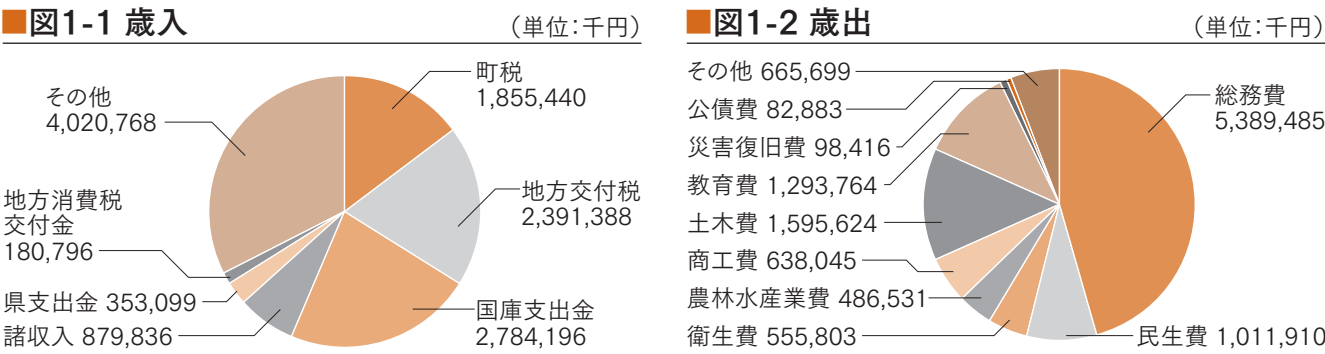
令和6年度の一般会計及び特別会計の決算が、9月に開かれた町議会定例会で承認されました。町づくりの記録である決算について、昨年度、町の一般会計へ収入した金額は約125億円、一般会計から支出した金額は約118億円となりました(表1)。また、一般会計へ収入した金額及び、支出した金額の主な費用の内訳は図1-1、1-2で示した通りとなっております。



■表1 会計別決算収支の状況 (単位:千円)

会 計	項 目	歳入決算額 (A)	歳出決算額 (B)	形式収支 (A)-(B) (C)	翌年度に繰越すべき財源 (D)	実質収支 (C)-(D) (E)
一 般 会 計		12,465,523	11,818,160	647,363	283,682	363,681
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計		1,252,940	1,124,077	128,863	—	128,863
住 宅 用 地 造 成 事 業 特 別 会 計		20,943	20,943	—	—	—
介 護 保 険 特 別 会 計		969,240	849,374	119,866	—	119,866
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		74,933	73,765	1,168	—	1,168
計		14,783,579	13,886,319	897,260	283,682	613,578

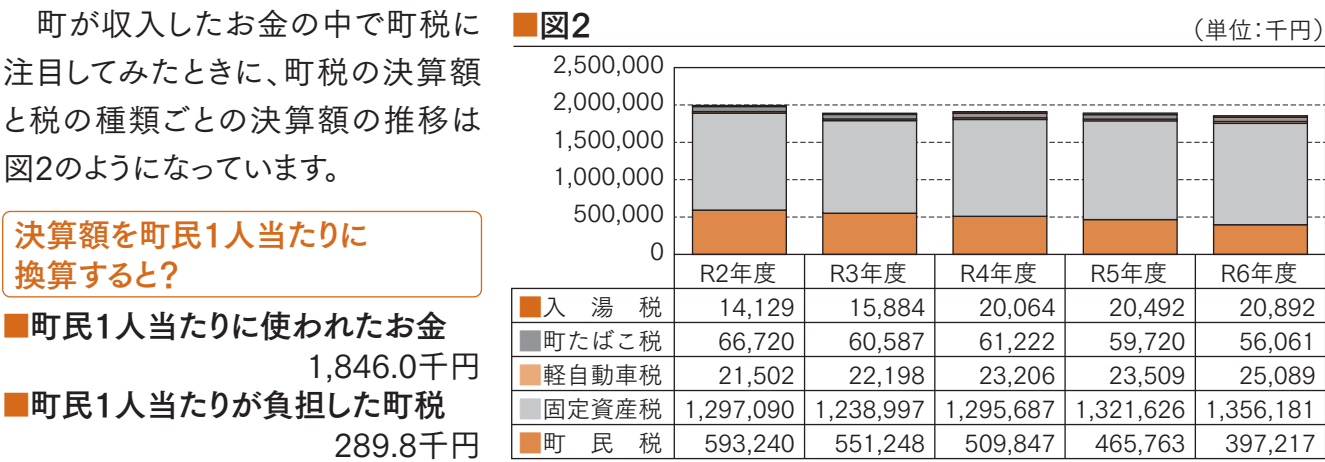
会 計	区 分	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	繰越額
下 水 道 事 業 会 計		649,741	561,094	35,495	236,024	19,800



令和6年度に実施した主な事業



町税の状況



子ども家庭センターからのお知らせ

10月の子育て情報

母子健康相談

子どもの育児の相談、言葉の遅れ、きょうだいや家族の事などを、町保健師、心理士、看護師が相談を受けます。

■日 時／11月27日(木) 10:00～12:00

■対象者／就学前の乳幼児とその保護者

■会 場／あおぞらこども園

ふたば教室

お子さんの言葉や発達についての相談や子育ての相談など、教室を通して専門職がアドバイスします。広野町、檜葉町、富岡町合同で行っている教室です。

■対 象／就学前のお子さんと保護者

■日 時／11月25日(火) 11:30～ 受付9:45～10:00

■会 場／檜葉町コミュニティセンター

※参加を希望される方は、事前にこども課へご連絡ください。

●お問い合わせ先

こども課 子育て支援係 ☎0240-23-5515

児童扶養手当

児童扶養手当とは

父または母と生計を同じくしていない児童が、育成されるひとり親家庭等の生活と自立の促進に寄与するため、手当を支給することにより、児童の福祉の増進を図ることを目的とした制度です。

■受給資格

次のいずれかに該当する児童(18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者。ただし、心身に一定の障害があるときは20歳未満)を監護している母、監護しかつ生計を同じくする父、または父母に代わってその児童を養育している方に支給されます。

- ①父母が婚姻を解消した児童
- ②父または母が死亡した児童
- ③父または母が政令で定める程度の障がいの状態にある児童
- ④父または母の生死が不明である児童
- ⑤父または母が引き続き1年以上遺棄している児童
- ⑥父または母が母または父の申し立てによりDV保護命令を受けた児童
- ⑦父または母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ⑧母が婚姻によらないで懐胎した児童

なお、「手当を受けようとする人、対象となる児童が日本に住所を有しないとき」等、上記に該当しても支給できない場合があります。

また、児童手当の受給資格に該当しなくなった場合は、すみやかに資格喪失届を提出してください。

届出が遅れて、その間に児童扶養手当が支払われ、後日、受給資格がなくなっていたことが明らかとなった場合は、その手当を返していただくことになります。

■手当を受ける手続き

手当を受けるには、檜葉町役場こども課の窓口で申請してください。

申請に必要な書類は、申請者の状況によって異なりますので、あらかじめ申請窓口を確認してください。



福島県児童家庭課

令和8年度

あおぞらこども園入園募集について

あおぞらこども園では、令和8年度あおぞらこども園に入園される乳幼児を募集しています。下記の要領でお申し込みください。

■申し込み対象児

檜葉町に住所を有し、令和8年4月1日で生後6月を経過する乳児から小学校就学前までの幼児

■申込書の配置先と提出先

申請書は、あおぞらこども園及びこども課子育て支援係窓口にあります。

なお、申請書はHPからダウンロードできます。

提出先は、あおぞらこども園になります。

■募集園児

0歳児クラス 令和7年4月2日～令和7年10月1日生まれ

1歳児クラス 令和6年4月2日～令和7年 4月1日生まれ

2歳児クラス 令和5年4月2日～令和6年 4月1日生まれ

3歳児クラス 令和4年4月2日～令和5年 4月1日生まれ

4歳児クラス 令和3年4月2日～令和4年 4月1日生まれ

5歳児クラス 令和2年4月2日～令和3年 4月1日生まれ

■入園申込受付期間

10月1日(水)から12月5日(金)まで

●お問い合わせ先

こども課 子育て支援係 ☎0240-23-5515

檜葉町家庭教育支援活動

☆ふらっと ながら☆

あおぞらこども園子育て支援センターで毎週火曜日に開催しています。

何かをしながら(お茶を飲みながら、遊びながら等)、ホッと一息つける場所です。お子さんやご家族、ご友人とのんびりとした時間を過ごしたりしませんか？

どなたでもふらっと気軽にお立ち寄りください。子育て経験や保健師経験があるスタッフがいつでもお待ちしております！

✳場 所／あおぞらこども園 子育て支援センター

✳日 時／毎週 火曜日 10:00～15:00
(10月は7日・14日・21日・28日)

✳対 象／妊婦さん～子育て中の保護者の方・
そのご家族、地域のみなさん😊

✳申 込 み／なし

●お問い合わせ先／こども課 ☎0240-23-5515

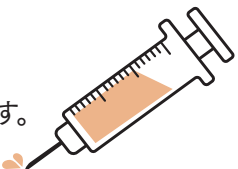
家庭教育支援活動

☎070-3798-5557

令和7年度予防接種のお知らせ

下記に該当して接種期間内に予防接種を受ける方は、町から助成金を受けることができます。

※対象となる方には9月下旬にお知らせを送付しています。



	① 新型コロナウイルス	② 高齢者インフルエンザ	小児インフルエンザ
対象者	接種日当日に檜葉町に住民登録があり、次のいずれかの要件に該当する方 ○接種日に65歳以上の方 ○接種日に60歳～64歳で、心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の回りの生活を極度に制限される方。ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方(身体障害者手帳1級相当)		接種日当日に檜葉町に住民登録がある生後6か月～高校3年生年齢相当の方
助成回数	1回		接種日に13歳～18歳の方 1回 接種日に生後6か月～12歳の方 2回
接種期間	① 令和7年10月1日(水)～令和8年3月31日(火)	② 令和7年10月1日(水)～令和8年1月31日(土)	令和7年10月1日(水)～令和8年2月28日(土) (医療機関により接種可能な曜日等が定められている場合があります。必ず電話で確認、予約をしてから接種を受けましょう。)
助成方法等	◎福島県内にお住まいの方 接種期間外に接種した場合は全額自己負担となりますので、ご注意ください。 ① 自己負担金 4,500円 ② 自己負担金 2,000円 接種場所：福島県内の実施医療機関(事前に要予約) 持 参 物：予診票、接種済証、本人確認書類(氏名、住所、生年月日が確認できるもの) ◎福島県外にお住まいの方 原発避難者特例法により、お住まいの自治体で予防接種が受けられます。対象となる方には9月下旬にお知らせをお送りしますのでご確認ください。		助成金額：接種1回につき3,500円を上限とします。 持 参 物：予診票・母子手帳・本人確認書類(氏名、住所、生年月日が確認できるもの) 助成方法：接種場所によって異なります。 ◎双葉郡内の医療機関で接種を受ける場合 予防接種後の手続きは不要です。接種料金は医療機関ごとに異なりますので、接種料金が、助成上限額(3,500円)を超える場合は、超えた額を医療機関へお支払いください。 1 ☎医療機関へ予防接種の予約をする 2 予約した日時に予防接種を受ける ◎双葉郡外の医療機関で接種を受ける場合 1 ☎医療機関へ予防接種の予約をする 2 予約した日時に予防接種を受ける 3 医療機関窓口で接種料金を支払い、領収証、接種済証を受け取る 4 「助成申請書・領収証・接種済証」を保健福祉課へ提出する(持参または郵送) 提出期限：令和8年3月31日(火) 5 申請口座へ接種料金(上限3,500円)をお振込みします



新型コロナウイルス



高齢者インフルエンザ



小児インフルエンザ

新型コロナウイルスやインフルエンザの予防接種は、受けなければならないという法律上の義務はありません。自らの意思で接種を希望する場合に予防接種を行います。

●お問い合わせ先／保健福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102

リフレッシュヨガ

呼吸、ポーズ、瞑想を組み合わせ行い、普段使っていない筋肉を目覚めさせます。
■対象者／参加要件＊を満たしている方 ※参加要件…医師から運動制限に関する指示等を受けていないこと。
■定 員／25名程度
■日程・場所／

日	に	ち	時 間	場 所
10月	1日(水)			
	15日(水)		① 13:15～14:15	① みんなの交流館 ならはCANvas
	29日(水)		② 14:45～15:45	② 地域活動拠点「まざらっせ」
11月	5日(水)			

■内 容／理学療法士兼ヨガインストラクターによるリフレッシュヨガ
■持 ち 物／タオル・運動しやすい服装・水分(水筒またはペットボトル)・ヨガマット(お持ちの方)
■申込方法／保健福祉課保健衛生係にご連絡ください。先着順にお申し込みを受け付けます。
■注意事項／都合により日程・内容等が変更となる場合があります。
●お申し込み・お問い合わせ先／保健福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102

10月・11月デュークズウォーキング教室の開催

10月・11月のデュークズウォーキング教室を次の日程で開催します。
初めての方も、町民以外の方もできます。皆様の参加を、お待ちしております！
■講 師／五十嵐KAZUKO氏(デューク更家公認ウォーキングスタイリスト)
■日時・会場／10月25日(土)13:30～15:00、檜葉中学校武道館
11月29日(土)13:30～15:00、檜葉中学校武道館
■持 ち 物／上ばき(スニーカー等)、飲みもの、タオル
●お申し込み・お問い合わせ先／保健福祉課 国保年金係 ☎0240-23-6102

おめでとうございます (敬称略)

氏 名	保護者名	行政区
なかむら 中村 瑠伽	悠真・くるみ	山田岡

(広報ならは9月号掲載以降にお生まれになられた方)

お悔やみ申し上げます (敬称略)

氏 名	年齢	行政区	氏 名	年齢	行政区
庄子 朝吉	90	上小埜	新妻貴代子	89	繁 岡
猪狩 伯子	81	上繁岡	高木 茂夫	98	上小埜
猪狩テル子	98	下小埜			

(広報ならは9月号掲載以降亡くなられた方)

檜葉町 令和7年度		双葉地方水道企業団	
水道修理当番業者表 (令和7年10月～11月)			
年・月		令和7年	
指定給水工事業者名		10月	11月
北陽管工(有)	0240-27-3419	1日～4日	2日～8日
吉田鉄工所	0240-27-3241	5日～11日	16日～22日
山忠設備工業	0240-27-3311	12日～18日	23日～29日
草野建設(株)	0240-25-3121	19日～25日	1日、30日
吉田設備	090-3982-3422	26日～31日	9日～15日

檜葉町住民基本台帳人口 (令和7年8月31日現在)	
世 帯 数	3,188
男	3,284
女	3,049
人口(外国人含む)	6,333

企業広告欄 内容についてのお問い合わせは広告主までお願いします。

そば打ち処 の家

— 手打ちそばの注文販売を行っています —

◆ 10月から新そばを打っております。
(常陸秋そば他)

1人前 400円 (2人前より承ります)

純手打ちの風味豊かなそばをお届けします。
ぜひ、打ちたてのそばを御賞味ください。

●お問い合わせ・ご注文は…
檜葉町井出字浄光西3-28 ☎080-3327-2702

モニタリングの結果は各ホームページをご確認ください。

福島県放射能測定マップ

原子力規制委員会放射線モニタリング

食品等モニタリング

福島県農林水産物・加工食品モニタリング

双葉地方水道企業団

プール&ストレッチ2025 [第3クール]のご案内

ならはスカイアリーナでストレッチ&アクアビクスをしませんか？
Jヴィレッジのトレーナーが、皆さんが元気で笑顔になれるメニューを提供します！
■対 象 者／参加要件＊を満たしている方
※参加要件…医師から運動制限に関する指示等を受けていないこと。
30分程度歩くことに不安が無い程度の体力があること。
■定 員／25名程度
■日 程

日	に	ち	時 間
10月	24日～12月	19日の金曜日 [全8回]	
	10月	24日・31日	
	11月	7日・14日・28日	
	12月	5日・12日・19日	
		9:50～12:00	

■場 所／ならはスカイアリーナ
■内 容／ストレッチ・水中ウォーキング・アクアビクス等
■持 ち 物／水着・水泳帽・タオル・上履き・運動しやすい服装・水分(水筒又はペットボトル)
■申込方法／10月22日(水)までに保健福祉課保健衛生係にご連絡ください (☎0240-23-6102)。
先着順にお申し込みを受け付けます。
■注意事項／原則として、8回続けて参加して頂く教室です。
都合により日程・内容等が変更となる場合があります。
定員を超えたお申し込みがあった場合には、初めて参加される方を優先させていただきますのでご了承ください。
■そ の 他／第4クールは2025年1月～3月の開催を予定しています。

元気アップ教室

Jヴィレッジフィットネスジムのトレーナーが、運動やストレッチ等を支援します。
■日時／10月8日(水)・10月22日(水)・11月12日(水) 13:30～15:00
■会場／みんなの交流館 ならはCANvas
●お申し込み・お問い合わせ先
保健福祉課 保健衛生係 ☎0240-23-6102

消防署からのお知らせ

豪雨災害に備えましょう!!
今この季節は、台風や前線の影響で、洪水、暴風、高潮などによる自然災害のリスクが増加します。
災害への備えをもう一度確認し、早めの対策を心掛けましょう。

風水害対応フローチャート

台風の接近や線状降水帯・ゲリラ豪雨の発生予報など風水害の危険が迫る

気象情報で注意報・警報・特別警報や、土砂災害警戒情報が出ている？

はい ↓ いいえ →

高齢者等避難や避難指示が発表されている？

はい ↓ いいえ →

指定緊急避難場所など安全な場所に避難しましょう。

すでに浸水している？または夜間で見通しが悪い？

はい ↓ いいえ →

自宅や近隣の建物の2階以上の安全な場所へ避難し、救助を待ちましょう。※こうなる前に避難！

避難が必要かどうかは、その場所によって異なります。
市町村が発表しているハザードマップを確認して、皆さんのご自宅や職場、通勤通学ルートなど身近な場所が、風水害の危険性があるかどうかを把握し、避難経路や避難場所を確認しておきましょう。

お問い合わせ先

富岡消防署 ☎0240-34-4111
火事・救急は119番 檜葉分署 ☎0240-29-2119

10月の納税等

忘れずに納めましょう。

■国民健康保険税(4期) 納期限:10月31日(金)
■町県民税[普通徴収](3期)

●お問い合わせ先 町民税務課 ☎0240-23-6101

■後期高齢者医療保険料(3期) 納期限:10月31日(金)
■介護保険料(4期)

●お問い合わせ先 保健福祉課 ☎0240-23-6102

※口座振替の方は10月31日(金)に引き落としとなりますので残高の確認をお願いします。
※口座振替を申請された方は納付書で納付する必要がなく、自動で口座から引き落としされますので、ご希望の方はお気軽にお問い合わせください。



ならは町
**秋空
散策**

爽やかにならはの秋を
楽しんでみませんか

とき **11/1** 土 小雨決行

メイン会場(集合・スタート・ゴール)
天神岬スポーツ公園

■お申し込み・お問い合わせ先
WEB申し込み
TUFホームページ⇒イベント⇒
ならは町秋空散策あるこう会⇒
申込フォーム

☎(024)531-8815
(テレビユー福島 企画事業部)
●受付時間：平日10:00～17:00

あふ会

2025

参加者大募集

**豪華プレゼントが当たる!!
大抽選会開催**

**おいしいもの満載!
無料振舞い!!**

参加者全員 カレーライス
参加者全員 マミーすいとん
B・Eコース限定 サケの紅葉汁

チャレンジ
ふくしま
県民運動

**参加料
(保険料含む)
500円**

タイムスケジュール

- 8:15 参加者受付
- 9:00 開会式、準備体操
- 9:30 テープカット&スタート
- 11:00 振舞開始
- 12:30 大抽選会
- 13:30 ゴールクローズ

コース紹介

- A ショートコース(4.8km)
- B Jヴィレッジコース(12.2km)
- C フットパスコース(4.7km)
- D アートウォーキングコース(7.9km)
- E サイクルロゲイニングコース(27.3km)

※C・D・Eコースは事前予約が必要です。
●コース定員50名、●コース定員30名、●コース定員50名

主催 / 秋空散策あるこう会実行委員会 共催 / 榎葉町・テレビユー福島

1歳おめでとう!

10か月健診の際に
お写真をお撮ります。

さん べい れい か
三瓶 礼蘭
ちゃん

う さ み え な
宇佐美 咲菜
ちゃん

はやし せう に
林 翔虹
くん

みつ た つき ひ
満田 月陽
くん

榎葉町役場連絡先一覧

榎葉町役場			防災無線	
●総務課	0240-23-6100	●土地改良区	0240-23-6137	防災無線の内容を電話で 確認できます。 0240-25-5805 0240-25-5806
●町民税務課	0240-23-6101	●産業創生課	0240-23-6105	
●保健福祉課	0240-23-6102	●建設課	0240-23-6106	
●政策企画課 (DX推進室含む)	0240-23-6103	●くらし安全対策課	0240-23-6109	
●農林水産課 (農業委員会含む)	0240-23-6104	●出納室	0240-23-6131	
		●議会事務局	0240-23-6132	
		●こども課	0240-23-5515	
		●生涯まなび課	0240-25-2492	
		コミュニティセンター	0240-25-4701	
		●あおぞらこども園 (子育て支援センター)	0240-26-0808	

〒979-0604 双葉郡榎葉町大字北田字鐘突堂5番地の6
TEL 0240-25-2111 FAX 0240-25-5564 E-mail:naraha@town.naraha.lg.jp
【土日祝日は日直対応 8:30～17:15】



榎葉町をちょっと
のぞいてみませんか?
**榎葉町
公式SNS**



ホームページ



X



Facebook



Instagram



LINE



YouTube



あおぞらこども園
Instagram